BodyMetrix™
By IntelaMetrix®

BodyMetrix™ Pro System
Mac
ユーザーガイド

⚠ 使用前に必ず本取扱説明書をお読み下さい。 ⚠

取り扱い説明書

用途:
BodyMetrixは、健康な成人と子供(6歳以上)のみに対して使用可能です。またこれは病気や体調を診察するためのものではありません。詳細については、このユーザーガイドの4ページを参照にしてください。

環境条件
温度: 0°c～60°c
湿度: 5%～95%
高度: 海抜0～3500m

所用動力
USBケーブル2.5ワット、5V、最大500mAmps

使用動作環境
Mac Pro または Air
Mac OS X 10.5 またはそれ以降のもの (64 bit)
1 GB RAM
USB ポート

製造モデル番号
BX2000 Professional

BodyMetrix™ System User's Guide
Copyright© 2005 - 2013 IntelaMetrix, Inc.

目次

使用説明 4
ソフトウェアのインストール....5
BodyMetrix システムの利用 6
　ホーム 6
新規クライアントプロフィールの作成....7
クライアントプロフィールの表示 8
体脂肪率の測定.... 9
　体脂肪率測定の分析....11
　径周囲測定の記録 12
マイヘルス 13
レポートの作成 14
傾向と推移経緯 14
クライアントデータの編集....16
ボディスキャン 17
スキャンの解析 20
スキャンの比較 22
ギャラリー 23
測定ポイントとスキャンポイント 24
FAQ's 27
保存と取り扱い 28
2 年間保証 30
ノート....31

※ユーザーガイドの画像はすべて英語版ですが、付属のソフトウェアはすべて日本語です。

使用説明

1)　BodyMetrix™ BX2000は、局所の脂肪厚、局所の筋肉厚の測定を表示します。**BodyView**ソフトウェアを使うことにより、体脂肪率を計算することが出来ます。**BX2000**は、健康な成人と子供**(6**歳以上**)**に対してのみ使用可能であり、病気や体調を診察するものではありません。

2)BodyViewソフトウェアは、局所の脂肪厚、局所の筋肉厚、そこから体脂肪率を計算したものを表します。また、腹部**–**臀部比率**(WHR)**、**Body Mass Index(BMI)**も計算し表示します。その各測定の変化を追跡することが出来き、一般的な体組成レポートを作成します。

禁忌

BodyMetrix™ BX2000 は、病気の診断や治療、緩和、予防として使用しないでください。

警告と注意

機器自体が故障している場合またはコードが破損している場合は**決して**使用しないでください。

機器が濡れている場合は、**決して**使用しないでください。

開放部や傷のある皮膚には、**決して**使用しないでください。

機器を拭取るために研磨剤や強力な科学製品を使用しないでください。

故障や破損の原因になるため落とさないでください。

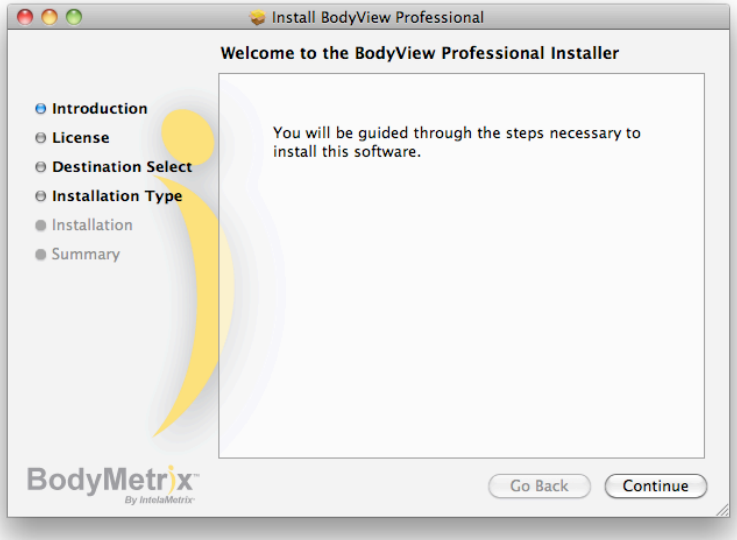
熱を発するものの側での保管、高い気温、湿度、直射日光の当たる場所での保管は故障の原因になるため避けてください。

アルコール分 **70**％の消毒液で、**毎回**機器の皮膚付着部位の表面を拭くようお願い致します。

ソフトウェアのインストール

Step 1:
コンピューターを立ち上げます。そして付属の CD をドライブに挿入します。

Step 2:
CD を開き、インストールパック：**BodyView Professinal** を開始してください。



※ユーザーガイドの画像はすべて英語版ですが、付属のソフトウェアはすべて日本語です。
指示通りインストールを進めて下さい。

Step 3:
BodyMetrix 装置を USB ポートに差し込んでください。 赤い点滅の後に緑の光が点灯します。点灯しましたら、使用可能となります。

Step 4:
アプリケーションフォルダーに行き、***BodyView Pro*** を立ち上げることで BodyView プロフェッショナルの開始が出来ます。初めて立ち上げる時は、短いトレーニングビデオが流れます。※英語のみ

BodyMetrix™ システムの使用

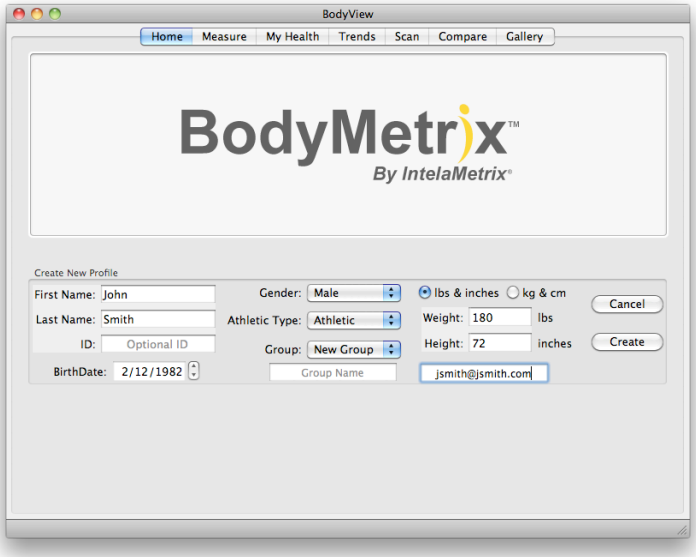
ソフトウェアを開始する前に、本体が USB ポートに差し込まれていることを確認してください。また緑のライトが点灯していることも確認してください。BodyView ソフトウェアを開始するには、アプリケーションフォルダーから BodyView Professional を立ち上げて下さい。※ローディングするのに数秒かかるかもしれません。その後、ホーム画面が表れます。

ホーム

ホーム画面では、「プロフィール」をクリックすると既存のクライアントプロフィールを開くことが出来ます。「プロフィール」ボタンは、自分の好きな画像をボタンの上にドラッグすることで簡単にカスタマイズする事が出来ます。

新規クライアントプロフィールの作成

新規のプロフィールを作成するには、「プロフィール」の作成ボタン（または新規プロフィールメニュー）をクリックすると下図の記入フォームが表れます。名前、生年月日、性別、体重、身長を単位（kg & cm）を選択し記入してください。また正しいアスレティックタイプを選択するようにしてください。アスレティックタイプ：エリート、アスリート、一般の３つ。



アスレティックタイプの選択：

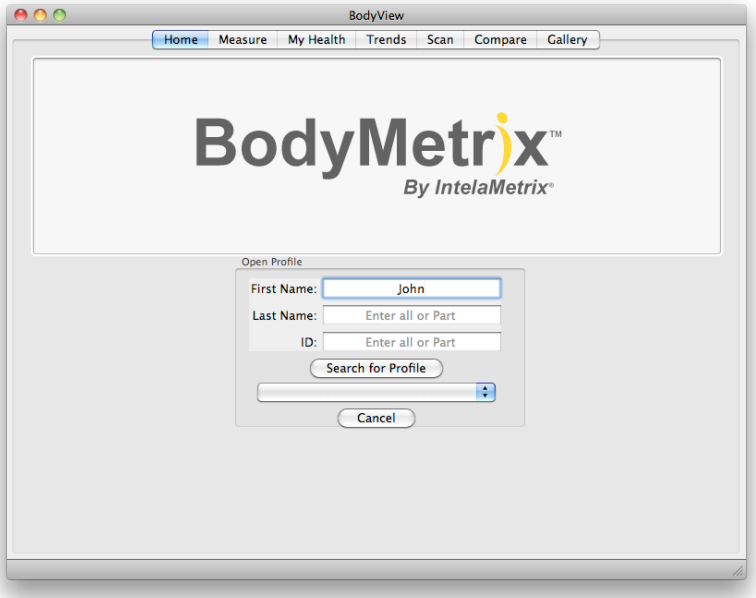
アスレティックタイプとは、超音波信号を正しく送るため BodyView により使用される追加情報です。これは、次のガイドラインにそって正しく選択することが重要となります。

- **エリート –** 一般的に良い身体付きをしている方。(腹筋が６個に割れている) また過脂肪がほとんどなく、定期的に運動をしている方。小さな身体付き(マラソン選手など)から大きな身体付き(ボディービルダーなど)な方を含みます。作成後いつでも変更は可能です。
- **アスリート –**見た目過体重でなく、時々運動をしている方。ほとんどの方がこの分類に入ります。
- **一般–**見た目で過体重な方。

疑いがある場合は、分類を上に変更してください。(例：アスレティックからエリートに) 必要であれば、変更してください。作成をクリックして続けて下さい。

クライアントプロフィールの表示

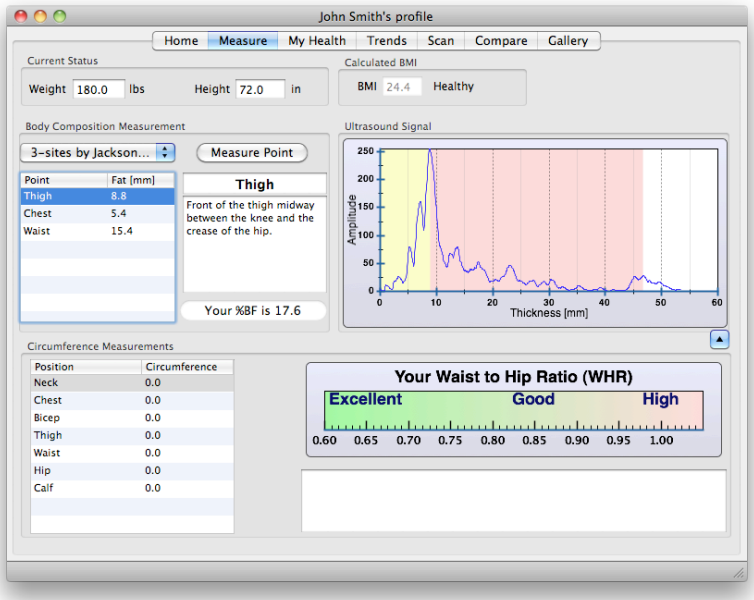
既存のプロフィールを開始するには、ホーム画面の「クライアントプロフィールを開く」をクリックしてください。



クライアント ID、または名前や名字のみで調べる事が出来ます。氏名すべてを記入する必要はありません。例えば、ジョン・スミスというプロフィールを探す際に、スミスのみ記入するとソフトが自動で該当するすべてのクライアントを表示します。該当するクライアントプロフィールを開くためには、その ID をクリックすると開始されます。

体脂肪率の測定

体脂肪率を測定するには、測定したいクライアントを開くと、下の図のような測定ページが表示されます。



NOTE:
初めてBodyMetrixを使用する場合は、ソフトウェアが本体のキャリブレートを行います。完了するためには本体のボタンを数秒間押してください。

測定を行う前に、計算式を選択します。多くの場合は、3点法が良い方法です。より正確に測定したい場合は、より多くの測定点を使う方法が良いでしょう。上の図にあるように、ドロップダウンを使い希望の計算式を選択してください。利用できる計算式は、性別や年齢によります。新規の計算式を加えることも可能です。

使用する測定ポイントは、キャリパーによる体脂肪率測定と同じ部位と場所です。新しい測定を始まる前に必ずアルコールにて設置面を拭いて下さい。

測定するには、測定ポイントを選択し、「Measure Point」をクリックして開始して下さい。

Step 1:
図にあるように本体設置部の中心に小指先ほどの超音波ジェルを付けます。付属のジェルの約２、３プッシュです。

Step 2:
測定部に本体を当てジェルを 5cm ほどに広げるように動かします。その後、本体を測定部に移動させ、ボタンを押しながら開始部から約 0.5cm 左右に 3-5 秒間動かします。本体を動かしている間は、しっかり皮膚に接触していることを確認してください。早さは、１秒間に測定間を１−2 往復する程度です。これを行っている間、スキャンをしている場所の脂肪厚の平均を取り、より確実な測定を行います。この行い方法は、トレーニングビデオを参照にしてください。

注意: もしクライアントが焼けるような感覚や皮膚に異常が見られた場合には、すぐに測定を辞め、病院で治療を受けて下さい。

Step 3:
１回目の測定後に、2 回目の測定を行うよう指示が出ます。１回目と 2 回目の測定が、10%以上差があると３回目の測定を行うよう指示が出ます。終了しましたら、リストに自動で測定結果が表示されます。

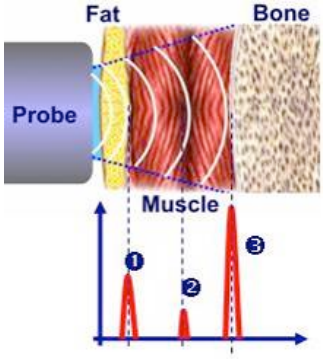
Step 4:
各測定ポイントで Step1 から 1 を繰り返して下さい。

Step 5:
すべての測定が終わりましたら、自動で体脂肪率が表示されます。

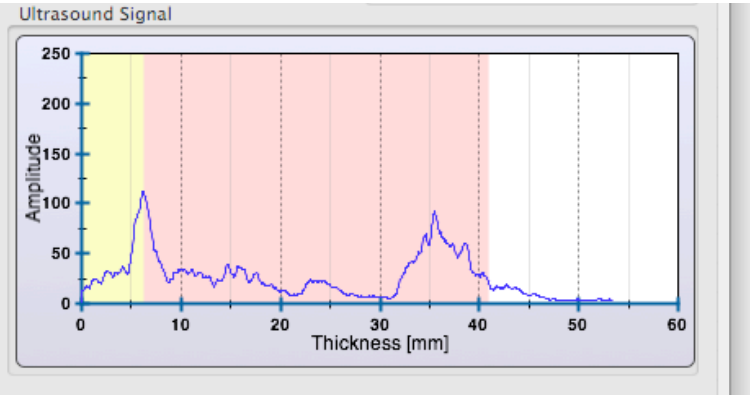
Step 6:
測定終了後、アルコールなどで消毒を行って下さい。

体脂肪率の分析

測定中に表示される測定グラフは、一見分かりにくく、エコーと聞くとどう超音波が脂肪の厚さを測るのか理解しがたいように思えるかもしれません。エコー（反響）とは発した音が空気中を通り、壁や山などに反射して耳に返ってきた際に聞こえる音のことです。その音が反射して聞こえるまでの時間を測るとその物体までの距離を計算出来ます。BodyMetrix システムは、組織を通る超音波信号を発し、その反射した信号を探知します。



引き続きエコー分析が行われ、それは私たちの口や耳のような役割をします。超音波は、体の組織を通り、異なった組織の形との境界線（例：脂肪と筋肉、筋肉と骨）にぶつかった際に強い反射が起こります。



上の図は典型的な測定グラフです。平行方向の y 軸は組織の厚さ、深さを表しています。垂直方向の x 軸は反射した信号を表し、最初の山❶は脂肪と筋肉の境界線であり、それより
小さないくつかの山❷は結合組織を含む異なった組織との境界線です。３つ目の山❸は、筋肉と骨の境界線です。BodyMetrix は、つかんだ皮膚の厚さを測り、それは本当の厚さより 1〜3 倍になりうるキャリパーとは違い、本当の組織の厚さを測る事が出来ます。

径周囲測定の記録

周囲計とウエスト-ヒップ比（WHR）を測定し、記録しておくことも出来ます。テープメジャーを使用し、正しく周囲計を測ります。記録するためには、測定箇所を選択し、数値を記入します。

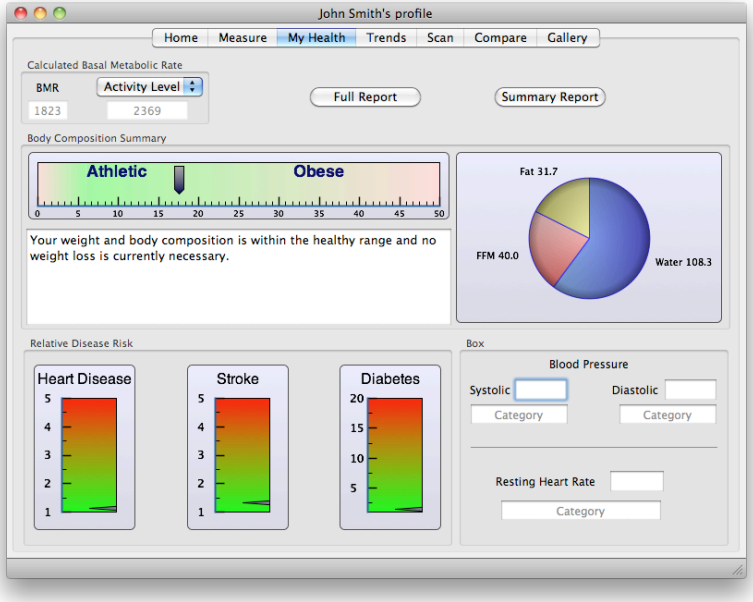
次の項目の周囲計を測定し記録出来ます。
首
胸
二の腕
太もも（大腿）
ウエスト
ヒップ
ふくらはぎ

ウエストとヒップを記録すると、ソフトが自動でウェスト-ヒップ比率を計算し、その数値が表示されます。基準分類は、世界保健機構（WHO）のガイドラインを基としています。

マイヘルス

クライアントの測定結果が確認出来ます。身体の体脂肪率、BMI、基礎代謝、それ関連する病気のリスクが見られます。現状の健康ステータスをどう改善するかまたは、維持するかクライアントにアドバイスします。表示される体脂肪率と BMI 値の分類は、WHO のガイドラインを参照しています。また関連する疾患のリスクは、心疾患、脳卒中、糖尿病をクライアントの脂肪率と BMI から計算しています。

注意：これらの情報は、すべての人の健康状態に当てはまるものではなりません。これらの健康に不安がある方は病院にて専門医に相談してください。



体重の円グラフは、過剰脂肪、健康脂肪、除脂肪体量、そして推定水分量から構成されている。関連する疾患のリスクは、心疾患、脳卒中、糖尿病をクライアントの脂肪率と BMI から計算しています。「My Health」は、健康な体重範囲を提示し、それを達成するまたは健康体重と体脂肪率を維持するためのアドバイスをします。

レポートの作成

「Full report」または「Summary」をクリックすることでクライアントのレポートを作成出来ます。フルレポートでは、３ページに掛けてすべての詳細を説明します。簡易レポートは最新の測定データを元に１ページでのレポートとなります。

両方のレポートともファイルに保存、印刷、またクライアントに直接メール送信出来ます。

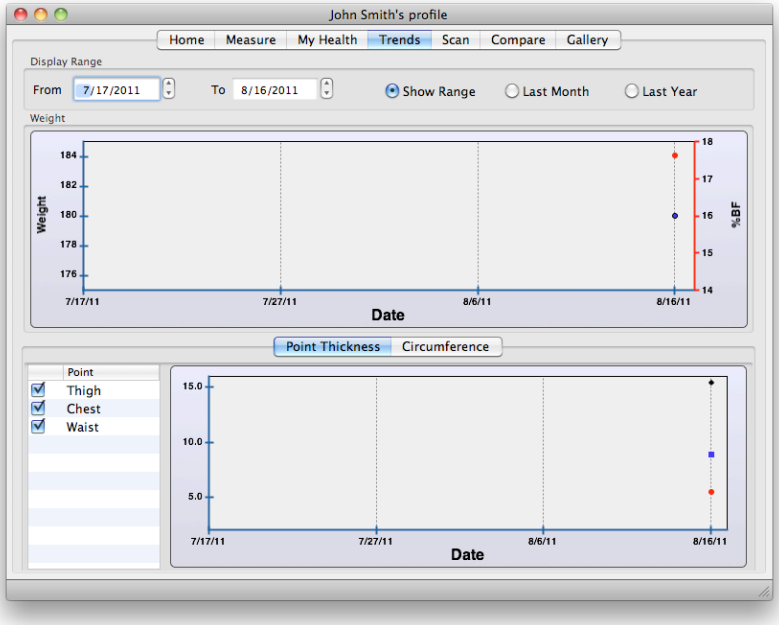
フルレポートを印刷する際には、どの測定または項目をレポートに入れたいかを選択することが出来ます。

経緯と推移経緯

「傾向」画面では、クライアントの今まで行った測定の経緯を確認することが出来ます。すべての記録したデータが折れ線グラフとして表示されます。次のデータがグラフ化されます。

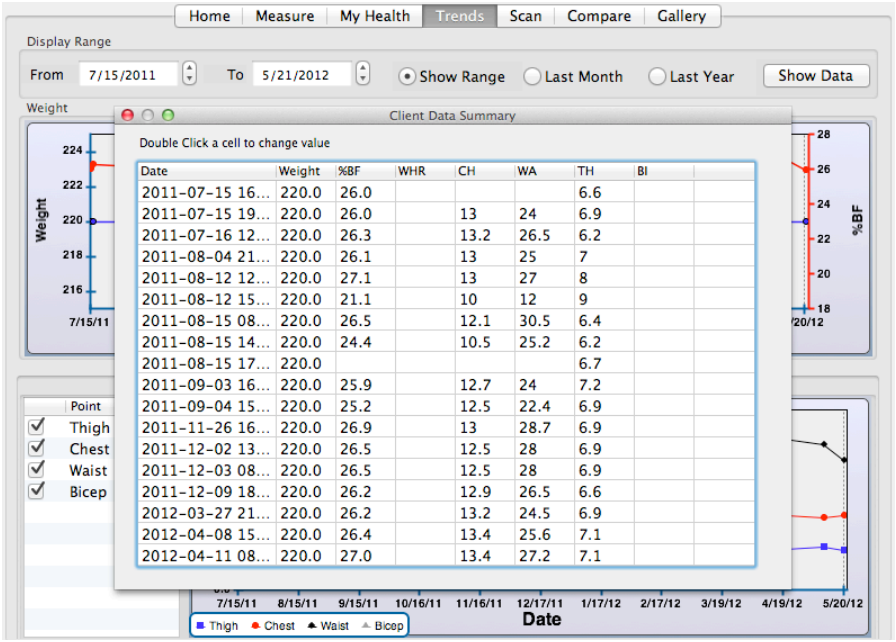
体重
体脂肪率
各部位の脂肪厚
ウエストーヒップ比
各部位の周径囲

各データを確認したい時は、マウスのカーソルをその場所に合わせると数値が表示されます。日付の範囲を特定の範囲に調整することも出来きます。また昨年や先月に合わせることも出来ます。



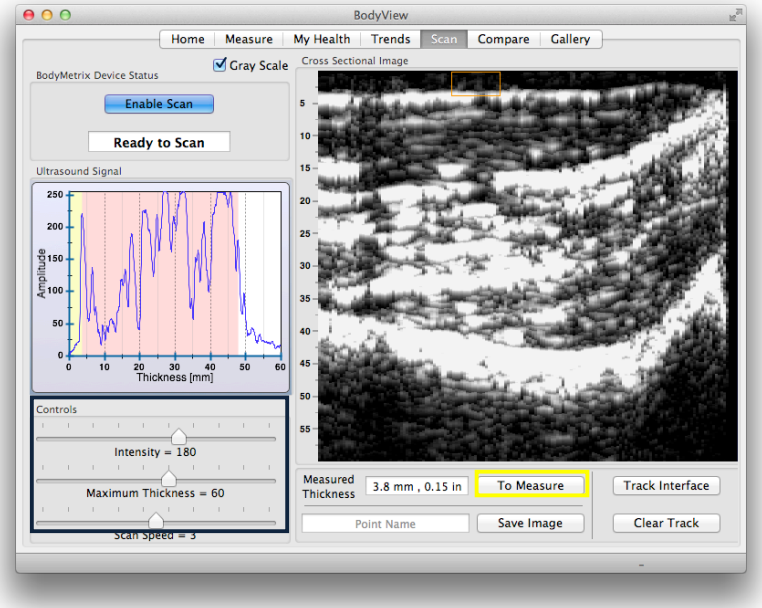
クライアントデータの編集

もしクライアントの脂肪厚、体重、体脂肪率を変更したい場合は、クライアントプロフィールを開き、「傾向」タブに行きます。そして「データを表示」をクリックします。そこで変更やデータ削除が行えます。



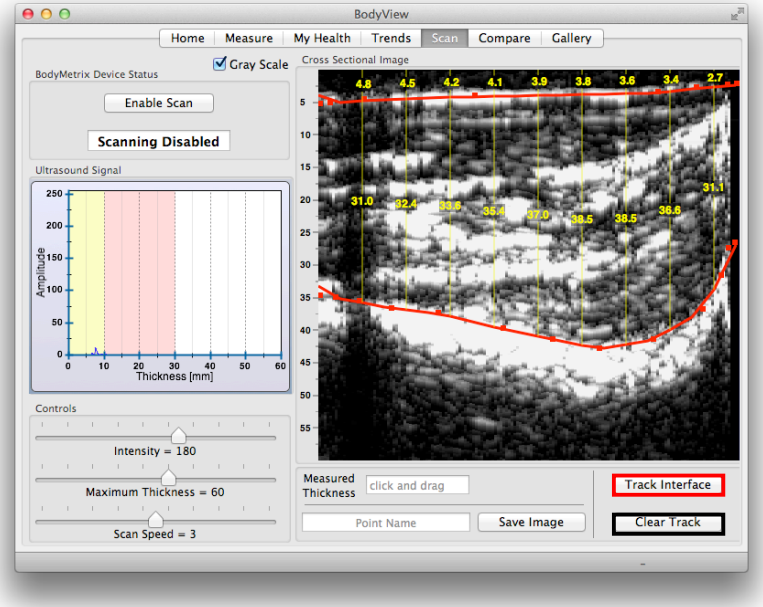
ボディスキャン

BodyMetrix は、特定の部位の断面図を画像化することが出来ます。これは、脂肪の減少、筋肉の増加、そして筋肉の基質の違いを見ることも出来ます。下の図は、男性の上腕二頭筋をスキャンしたものです。重要なコントロール（青で表されているパネル）は、どのように信号が増幅するかコントロールする強度です。強度が強いほど、信号反射は高くなり、その結果より深く映像化出来ます。
「最大の厚さ」は、画像化する最大の深さを決めます。スキャンのスピードは、どのくらい早く組織の断面図を左から右へ横切るかを調整します。長い組織をスキャンするには、ゆっくりなスキャンスピードを選択します。理想は、組織の断面図がスクリーン全体に入るように行うことです。



スキャンを分析するのに手助けとなる更なるいくつかの機能があります。「スキャン」タブで測定した図は、直接「測定」タブへ移行が出来ます。しかし、それは選択した公式での使用だけに限ります。これは、脂肪・筋肉境界面を直接確認できるため、より高度なものになります。上の図は、その機能のスクリーンショットです。脂肪の図がスクリーンに表れた後は、「測定画面へ」（図にて黄色で囲われた部分）ボタンが表れ、「測定」タブへ結果を移行することが出来ます。（この場合は、3.8mm）「境界線を引く」は、スキャン

で取り込んだ脂肪厚と筋肉厚に線を入れることが出来ます。断面図を取り込んだ後、「境界線を引く」ボタン（下の図の赤線で囲われた部分）をクリックすると境界線を追加できます。線を引きたい部分を画像上でクリックするだけで線が引けます。もし必要であれば、希望する位置に線が引けるようにクリックを続けてください。境界線に問題なければ、「境界線の停止」ボタン（利用できる時に、Track Interface ボタンと同じ位置に表れます。）をクリックしてください。線に問題があれば、「境界線を削除」ボタン（下の図の黒線囲われた部分）をクリックし、線を消して下さい。この過程を繰り返すことで 2 本目の線を引く事が出来ます。注意：表示される厚さは、1 本目の線から 2 本目の線までの距離です。この画像を保存すると図の中の線はそのまま残って保存されます。下の図は、脂肪と筋肉の境界線の 1 本目と筋肉と骨の境界線の 2 本の線が表示された上腕二頭筋です。

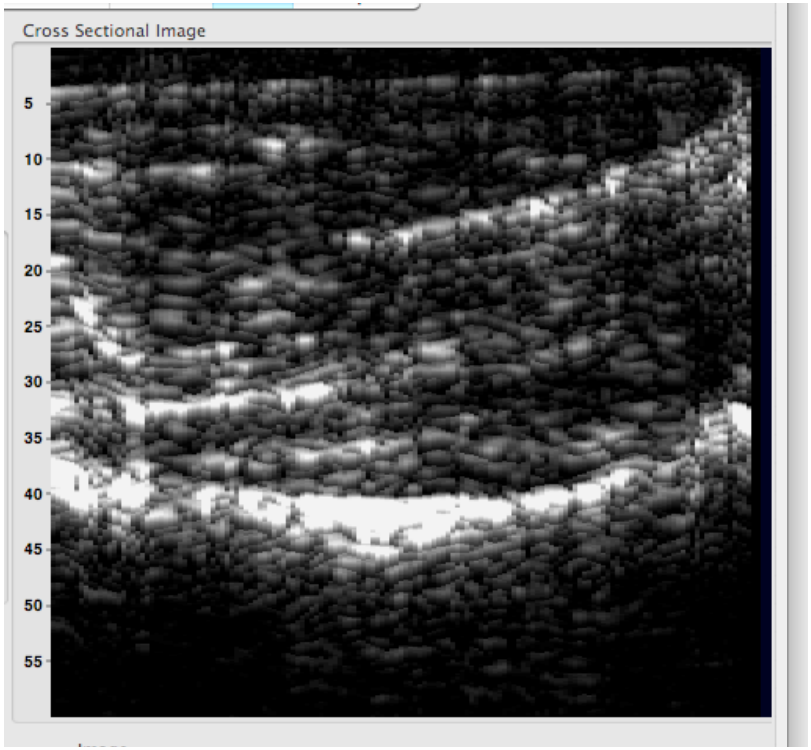


スキャン方法：

Step 1:
「スキャン」をクリックする。5 円玉ほどのジェルを BodyMetrix 本体に付ける。（これは、体脂肪測定で使用する量より多めです。）

Step 2:
希望する開始地点に本体を当て、スキャンした範囲全体にジェルが広がるように動かして下さい。その後、本体を開始地点に戻します。もし潤滑がスムーズでなければこれを繰り返して下さい。開始地点で測定ボタンを押し、ゆっくり本体をスキャンを終わらせたい地点まで動かします。どのくらいの速さで本体を動かすかは、図が完全にスキャンパネルに入る速さが理想です。

Step 3:
スキャンが完了しましたら、スキャンした範囲での組織構造の断面が画像として表示されます。下の図は、上腕二頭筋の中間部から肘の内側までをスキャンした画像です。

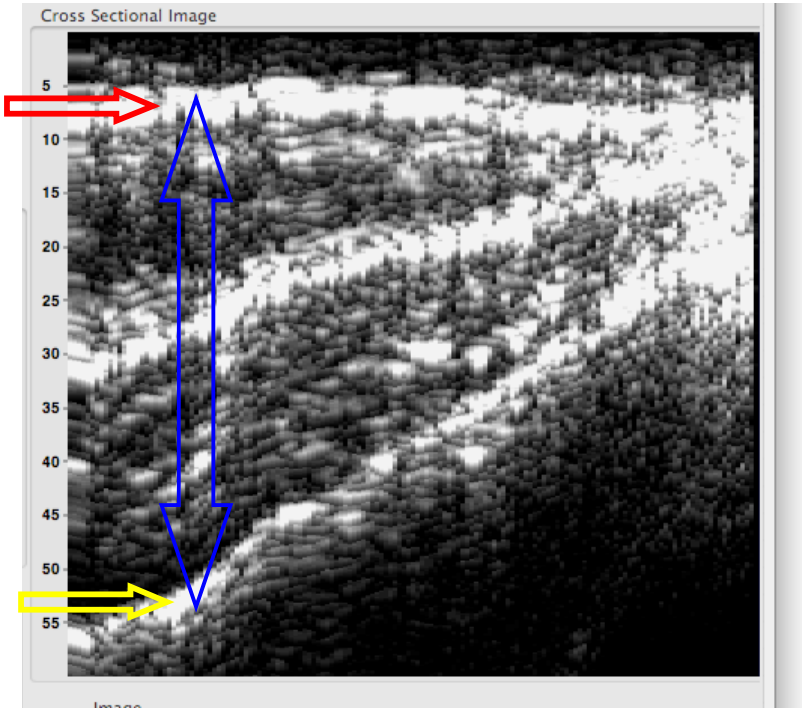


スキャンの解析

この機能を十分に活用して頂くには、ボディスキャンの解析方法を知る必要があります。画像は、スキャンした範囲の断面図を表します。境界部は、信号が強いところで見つかります。それらの白い部分は、組織間の境界線や隔たりを示します。

下の図は、大腿部の中間部から膝の近くまでスキャンしたものです。赤い矢印で示した最初の白い帯は、脂肪と筋肉の境界です。また黄色の矢印で示した白い帯は、筋肉と骨の境界です。筋肉厚は、青い矢印で示す通り、脂肪-筋肉境界線から筋肉-骨境界線までの距離です。膝の近くでスキャンが完了する場合、筋肉厚はスキャンが膝に近づくにつれて減少します。

超音波と断面図の十分な理解は有用ですが、スキャンの比較はより簡単な方法であり、ダイエットやエクササイズのプログラミングに役立つでしょう。

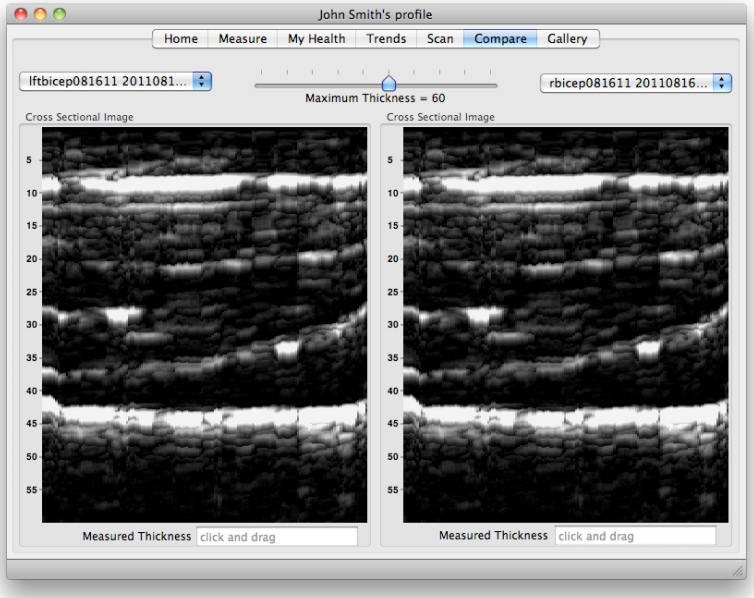


スキャンの比較

「***比較***」タブでは、スキャンを比較する際に使用します。ポップアップメニューを使用し、表示したい画像を選択します。画像は、名前、日付と時間が付けられリストされます。例えば「**lftbicep081611** 」は、2011 年 8 月 16 日(8.16.2011)の左の二頭筋となります。

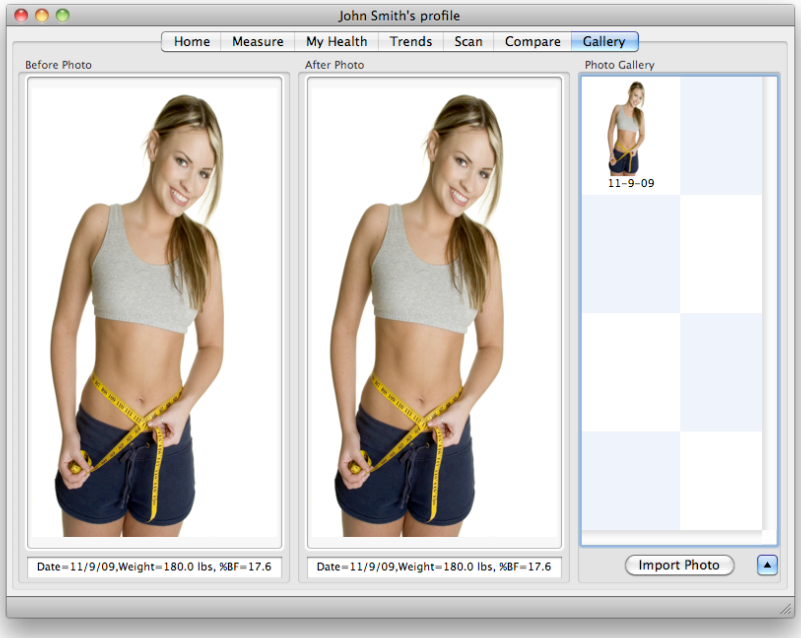
最大厚のレバーを使用し、スキャン表面のズームを行う事が出来ます。

組織層の厚さを測定するには、開始地点をクリックし、終了地点までドラッグして下さい。測定された厚さは、スキャンのすぐ下の測定パネルに表示されます



ギャラリー

「ギャラリー」は、クライアントの画像を保存しておく事が出来ます。ハードドライブまたはデジタルカメラからビフォアー、アフター写真を取り入れる事が出来ます。取り入れるためには、「画像の挿入」をクリックします。ウィザードが表れ、マウスを使って画像をトリミング出来ます。



測定とスキャンポイント・ガイド

男性＆女性

上腕二頭筋-上腕の前面部で、肩関節と肘関節の中心部または二頭筋の膨らんだ部分に当てて下さい。腕はどこにも置かず身体の横でリラックスさせて下さい。

スキャンでは、中心部に当て、ボタンを押したらゆっくり垂直方向に肘に向かって 7〜10cm スライドさせて下さい。

肩甲骨-肩甲骨下部の縁の真下に当てて下さい。（下角の下）

スキャンでは、肩甲骨下部の縁に当てます。ボタンを押したらゆっくり平行方向に右に向かって 7〜10cm スライドさせて下さい。

腋-腋窩中線（脇の下）で胸骨の高さで当てて下さい。

スキャンでは、脇に当ててボタンを押したらゆっくり垂直方向に臀部に向かって 7〜10cm スライドさせて下さい。

ウエスト–臍孔（へそ）の約 2.5cm 横に当てて下さい。

スキャンは、ウエストの測定ポイントに当て、ボタンを押したらゆっくり平行方向に臀部に向かって 7〜10cm スライドさせて下さい。

ヒップ（腸骨上部）– 腸骨稜（骨盤の上部の前方部の骨）のすぐ上に当てて下さい。

スキャンは、腸骨稜の約 2.5cm 下に当て、ボタンを押したらゆっくり平行方向に 7〜10cm スライドさせて下さい。

大腿部–大腿（腿前）の膝蓋骨（お皿）と股関節の中間で中心部に当てて下さい。

スキャンは、中心部に当て、ボタンを押したらゆっくり垂直方向に膝に向かって 7〜10cm スライドさせて下さい。

上腕三頭筋–肩峰（肩の端）と肘の中心部に当てて下さい。

スキャンは、中心部に当て、ボタンを押したらゆっくり垂直方向に肘に向かって 7〜10cm スライドさせて下さい。

下背部–腎臓の上で脊椎から約 5cm 右に当てて下さい。

スキャンは、上記の部分に当て、ボタンを押したらゆっくり平行方向に臀部に向かって 7〜10cm スライドさせて下さい。

ふくらはぎ–周径囲が最大の部分で中心より内側に当てて下さい。

スキャンは、上記の部分に当て、ボタンを押したらゆっくり垂直方向に足首に向かって 7〜10cm スライドさせて下さい。

胸部（男性）–腋窩線前方（わきの付け根）と乳頭の中間部に当てて下さい。

スキャンは、腋窩線に当てて、ボタンを押したらゆっくり垂直方向に乳頭に向かって 7〜10cm スライドさせて下さい。

FAQ's

機器が故障したり、ソフトウェアが動かなくなったりした場合はどうすればいいですか？
BodyMatrix サポートセンターに E メールにて連絡をして下さい。
info-adp@gbr.co.jp

BodyMatrix は、子供にも安全に使用出来ますか？
はい。お子様にも安全に使用頂けます。しかし 6 歳以上のお子様に限ります。

BodyMatrix は妊娠している女性、ペースメーカーを使用している方、その他病気などある方にも安全に使用できますか？
はい。あらゆる方に安全に使用できます。

体脂肪率を測るために、測定する箇所の数を変えたり、公式を変えると大きな誤差はありますか？
ボディタイプによりますが、公式により数%の誤差はあります。ですので、正確に推移をみる為に、同じ公式で測定を行うことを奨めます。

測定やスキャンは、どのくらいの頻度で行うべきですか？
あなたのプログラムによりますが、一般的に体組成の変化は 4-6 週間で数%変化します。

超音波のジェルはどのくらい使用したら良いですか？
体脂肪測定には、5mm ほどの量を使用すると良いでしょう。スキャンには、その部分全体を効率よくスキャンしたいために、その 2 または 3 倍の量を使用すると良いでしょう。

接触面を強く押し付けると体脂肪率は変化しますか？
普通に使用して頂ければ脂肪の厚さを測定するのにほとんど変化はありません。この効果をする為には、2D スキャンで BodyMetrix 機器を希望する部位に当てボタンを押し、当てる圧をかえてみて下さい。脂肪と筋肉の境界線はほとんど変化しないのがわかると思います。

BodyView のソフトウェアが、しっかり接触されていないと表示する時は、どういった場合ですか？
十分なジェルを付けなかった場合、または BodyMatrix が皮膚に対して角度が悪かった（しっかり皮膚に接触されていない）場合が主な理由と考えられます。また、装置をスライドする際も皮膚に常にしっかり接触していることが大事です。少しの圧で行っても測定可能です。

脂肪厚の測定を書き換えることは出来ますか？
はい。もし自動で行う脂肪厚は、明らかに間違っている場合、測定を中止し、自動測定を終え、測定データグラフの正しいピークをクリックすることで書き換えられます。正しい脂肪と筋肉の境界線だと思うピークを選択して下さい。ダイアログボックスが表れ、確認するよう促します。この必要があるときは、滅多にありません。クライントが、脂肪組織内に瘢痕組織がある場合は、脂肪と筋肉の境界を測定しづらくなります。

基礎代謝量（BMR）はどのように計算されるのですか？
私たちは、Katch-McCradle 式を使って BMR を計算します。

データベースのバックアップはどのように行えますか？
すべての記録のバックアップを行っていれば、自動でデータベースも保存されています。しかしもし直接データベースをバックアップしたいのであれば、次のフォルダーをコピーする必要があります。
Library\Application Support\Intelametrix

何故、ウエストの測定は正しくないように思える場合があるのですか？
身体には脂肪が 2 層で成る箇所が数カ所ありますが、ウエストはその一つになります。最初の層は、浅層脂肪で 2 つ目の層は、深層脂肪です。 2 つの脂肪は筋膜と呼ばれる境界または境目によって分かれています。時々ソフトが実際の脂肪筋肉の境界線の代わりにその筋膜を認知してしまいます。筋膜は、普通は最初の大きなピーク（山）です。これはあまり起りません。グラフの 2 つ目のピークをクリックして手動で書き換えて下さい。これが続くようでしたら、クライアントのアスレティックタイプを変更すると良いかもしれません。例：アスリートから一般へ

保存と取り扱い

BodyMatrix システムの適切な保存と取り扱いのため次の項目を守って下さい。

機器自体が故障している場合またはコードが破損している場合は**決して**使用しないでください。

危機が濡れている場合は、**決して**使用しないでください。

開放した部位や傷のある皮膚には、**決して**使用しないでください。

機器を拭き取るために研磨剤や強力な科学製品を使用しないでください。

故障や破損の原因になるため落とさないでください。

熱を発する機器の側での保管、また気温、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所での保管は故障の原因になるため避けてください。

アルコール分70%の消毒液で、**毎回**、機器の皮膚付着部位の表面を拭くようお願い致します。

上記のことを守られていない場合は、保証外になる恐れがあります。

シンボルマーク

製造工場

注意

<u>サポート・サービス連絡先</u>
BodyMatrix について何か問題がある場合は、次のサポートサービスまでご連絡下さい。

GBR 株式会社　ADP 事業部
BodyMetrix サポートサービス
info-adp@gbr.co.jp

2 年間品質保証

BodyMatrix Pro システムと BodyMatrix BX2000 は、建材および施工において通常の使用方法で、購入日より 2 年間欠陥がないことを保証しています。この保証は、初回の購入者のみ適応されます。

この保証期間中に商品の欠陥があった場合は、サポートサービスへご連絡下さい。

ただし、この保証は次の項目による破損・ダメージは含まれません。

偶発事故、天災、誤用、乱用、改造によるもの

許可のない人による修理によるもの

許可のないアクセサリーの使用によるもの

その他、私たちの規制を超えた条件によるもの

INTELAMETRIX®社は、商品の使用から生じたどんな間接損害、特別損害、派生損害の責任はありません。適合性や商品性の黙示的保証に限らず、すべての黙示の保証は、購入から１年間の保証があります。

この保証は、本保証規定に明記する諸権利をあなたに付与しますが、また各法域（州）により、その他の諸権利もあなたに付与されることがあります。一部の国では、結果的または偶発的な損害に対する責任、また黙示的保証の継続期間についての除外または削除を許可しない。上記の制限はユーザーには適用されない場合があります。

ノート：

ご質問がある方は、次までご連絡下さい。

info-adp@gbr.co.jp

BodyMetrix　IntelaMetrix　IntelaMetrix

IntelaMetrix®, Inc.
6246 Preston Ave.
Livermore, CA 94551 USA
www.intelametrix.com

opyright© 2005-2013 IntelaMetrix®, Inc. The name IntelaMetrix®, BodyMetrix™, and BodyView ™ are registered trademarks of IntelaMetrix®, Inc. Patents pending. All rights reserved. No part of this book may be reproduced in any form electronically or by mechanical means, including information storage or retrieval systems, without the expressed written consent of IntelaMetrix®, Inc.

IU-09-036/ProMac Rev B